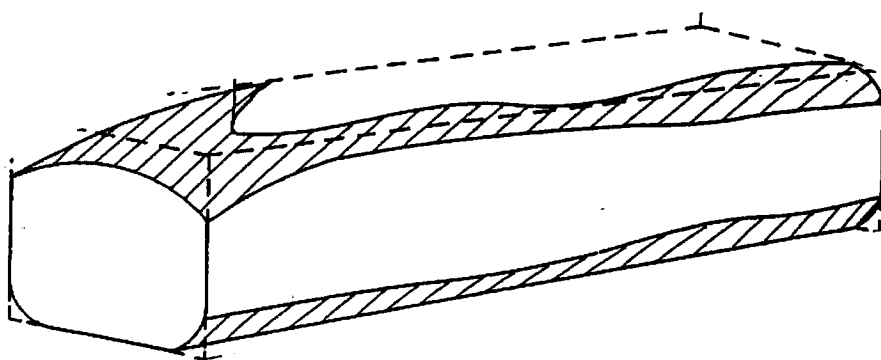


押 角

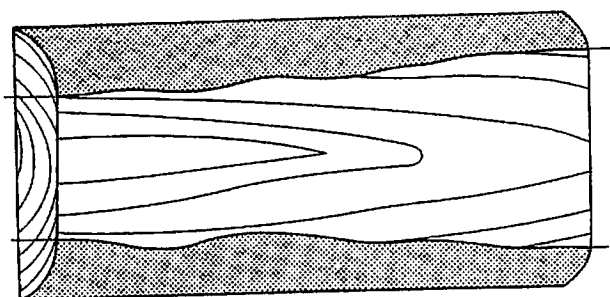
針葉樹で完全な角材となっておらず丸太の丸みが残っているものをいう。
その用途としては工事の仮設材料や東屋、物置、牛舎などに使われている。



耳付き材

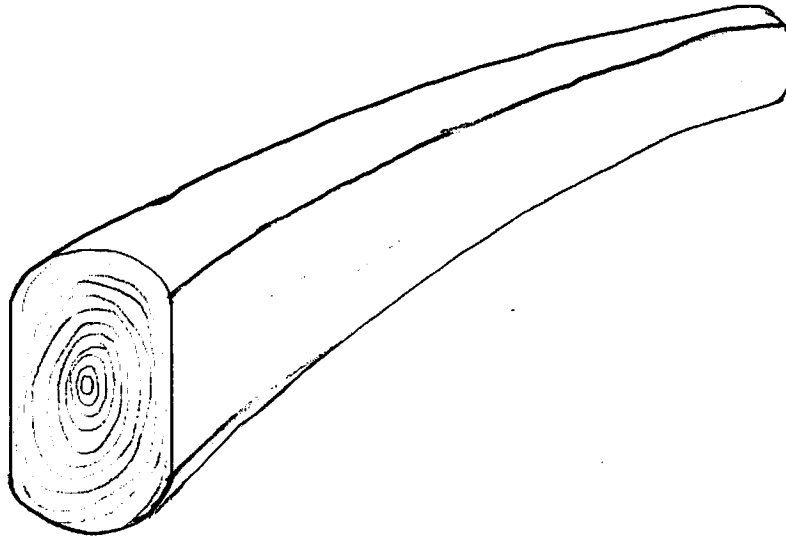
耳すりをしない（丸太を挽くときに両端の耳の部分又は1方を残している状態）針葉樹及び広葉樹の製材をいう。

その用途としては家具材、建具、内装材などに使われている。



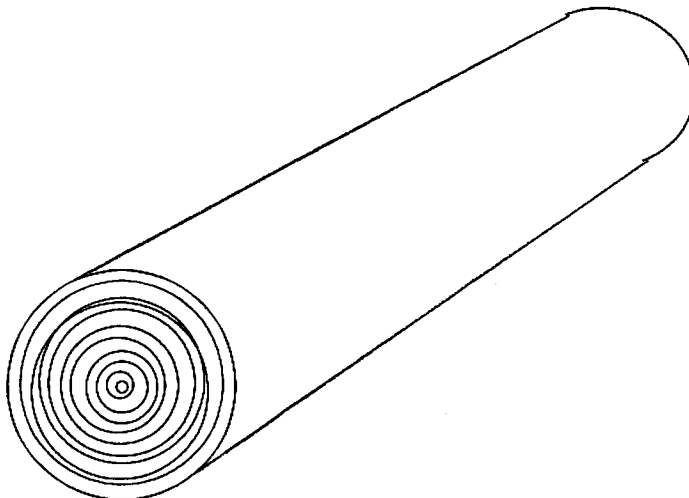
たいこ材

丸太の上下（又は左右）両面を切り落としたもので、断面がたいこ形になっている。
伝統家屋の梁（はり）などの構造用部材として多く使用されている。

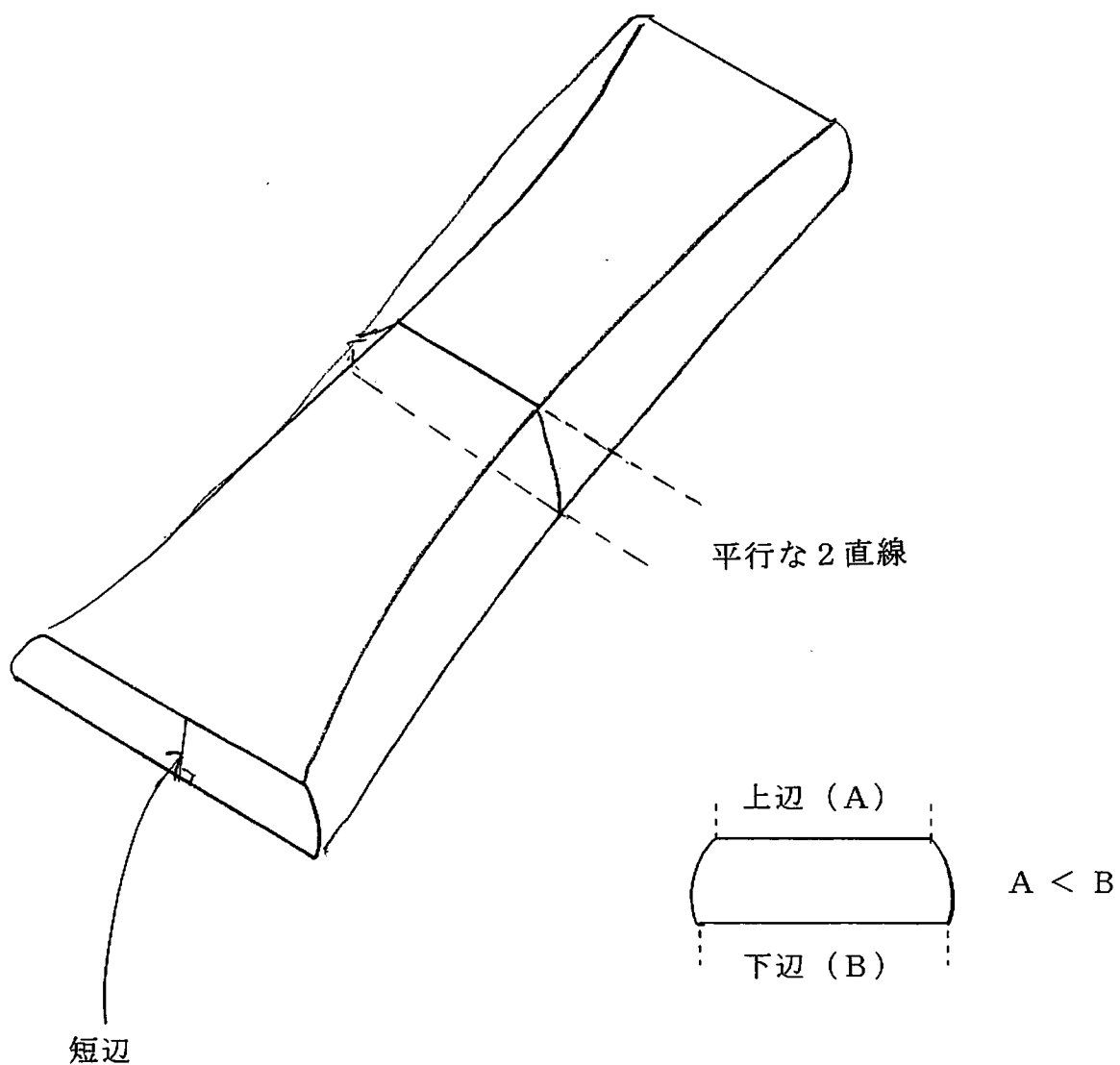


円柱類

丸棒と呼ばれるもので、木口の断面が円で直径が長さ方向に一定であるものいう。
その用途としては、遊具、外構材、構造材料などに使われている。

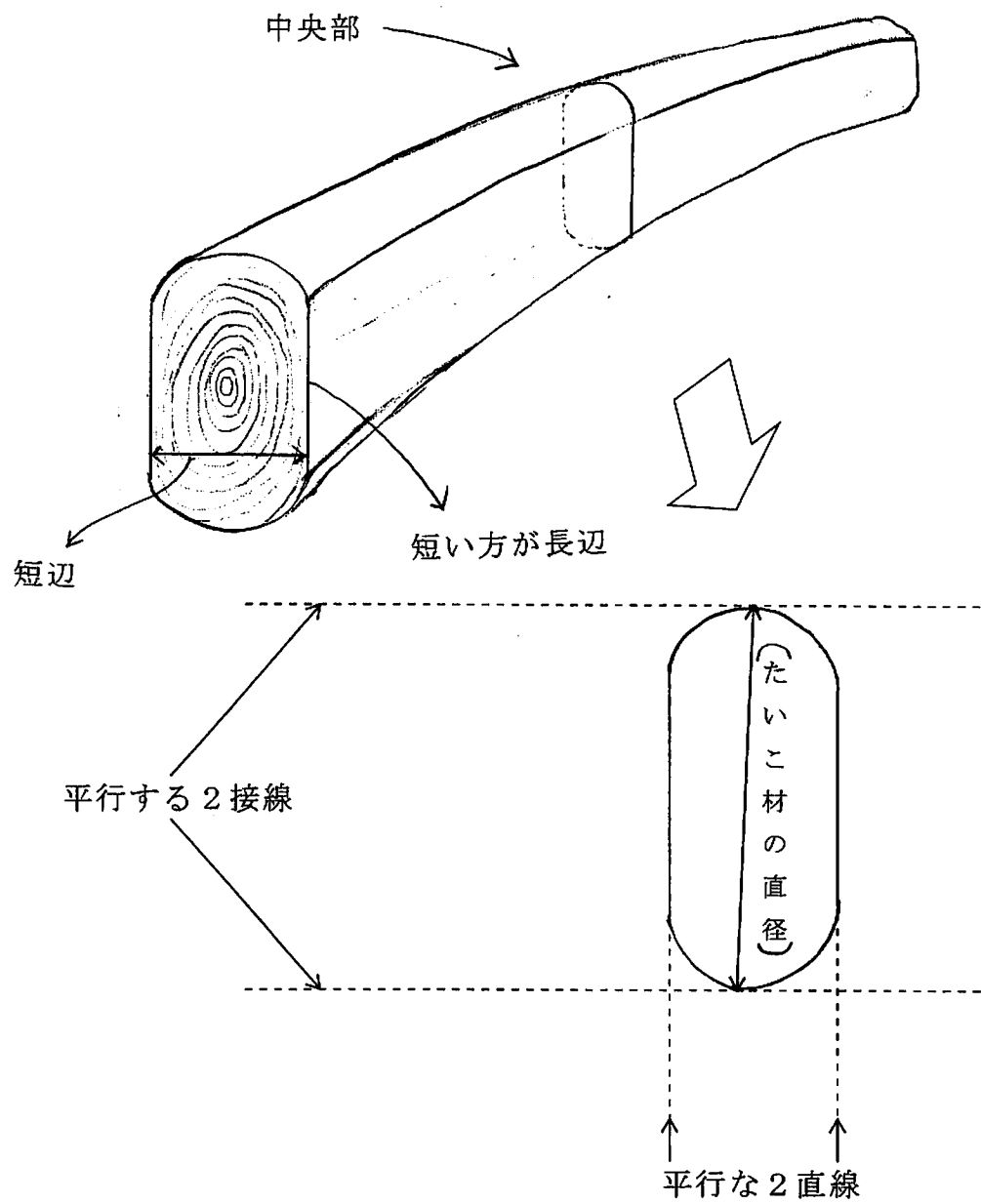


耳付材の寸法

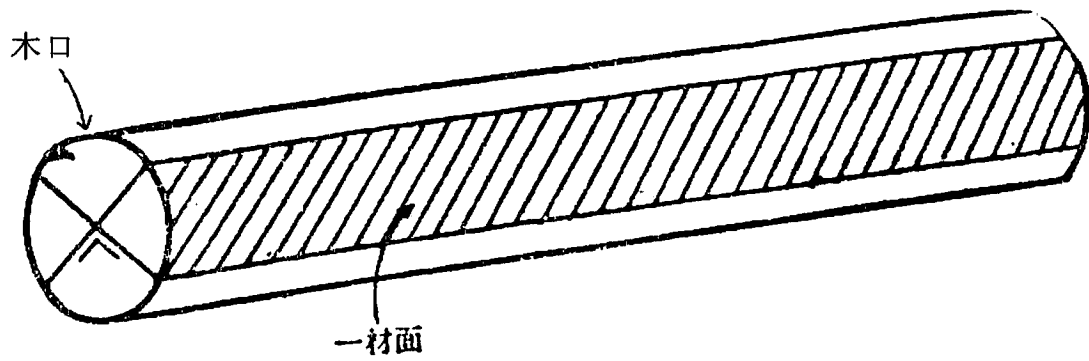


長辺 { 短辺が 6 cm 未満の場合 : A
 短辺が 6 cm 以上の場合 : $(A + B) / 2$

たいこ材の寸法



円柱類の材面



材面：「円柱類については木口を除く部分を円周方向に4等分した4面をいう。」